

第102期 中間株主通信

2016年4月1日 — 2016年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
目で見る連結決算ハイライト	3
トピックス	5
目で見る連結財務諸表	7
会社情報／株式情報	9





中期経営計画「ACE-2020」達成に向け グループ一丸で取り組んでいます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第102期上期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)の経営成績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。今後も引き続きご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役社長 朝倉 研二

Q 上期の概況についてお聞かせください。

A 想定した為替レート以上に円高が進み
ましたが、概ね計画どおり進捗しています。

上期における国内の経済情勢は、緩やかな回復基調で推移したものの、円高の進行による企業収益の悪化が懸念される状況が続いております。また海外では米国で緩やかな景気拡大が続いているものの、中国をはじめとする新興国の成長鈍化や英国のEU離脱問題等を受け、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

そうした中で当上期の連結売上高は、国内販売は

1,790億2千万円(前年同期比0.1%増)でしたが、海外販売は円高が進行した影響等により、1,718億3千万円(同12.9%減)、合計は3,508億6千万円(同6.7%減)となりました。

利益面では、減収と数理計算上の差異の償却に伴う退職給付費用の増加等により、営業利益は72億4千万円(同27.8%減)、経常利益は74億8千万円(同26.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億7千万円(同28.1%減)となりました。

円高やマイナス金利による退職給付費用の増加により、前年同期比では減収減益となっておりますが、事業の実態は、概ね期初に公表した見通しどおり進捗しております。

Q 通期の見通しはいかがですか？

A 期初に公表した見通しどおり、
変更はありません。

世界経済の先行きは、米国の新大統領就任を控え、ますます不透明な状況が続きますが、下期は、電子部品・半導体業界向け等の変性エポキシ樹脂関連をはじめ、製造・加工事業が好調に推移する見通しです。このような状況を踏まえ、期初に公表した予定通り、売上高7,350億円(前期比1.0%減)、営業利益145億円(同19.6%減)、経常利益160億円(同13.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益95億円(同22.9%減)を見込んでいます。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 創業200年に向けたチャレンジの
第一歩として中期経営計画「ACE-2020」を
スタートしました。飛躍的な成長を目指し、
着実に変革を実行していきます。

昨年創業200周年に当たる2032年までの長期経営方針を策定しました。それを実現する第一歩として、今年から2020年までの中期経営計画「ACE-2020」をスタートしています。「ACE-2020」では、従来の商社中心の考え方から、商社をグループの機能

のひとつと考え、製造、研究、海外ネットワーク、物流、投資の各機能を最大限活用し、グループ一丸となって世界へ新たな価値を創造・提供することにより、これまでの事業の延長だけではなし得ない飛躍的な成長を目指します。

具体的取組みの一例を、P.5-P.6にてご紹介させていただいておりますが、これらのビジネスの種を確実に成長させ、「ACE-2020」の目標達成へ向け、邁進してまいります。

また、今期中間配当につきましては、当初の予定通り1株あたり16円とさせていただきました。期末配当は同様に1株あたり16円を予定し、通期で32円とする予定です。当社は引き続き株主の皆様への利益還元を充実させるべく、一層の業績向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの将来性にご期待いただき、今後とも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 2017年3月期第2四半期

売上高	350,865百万円 前年同期比93.3%
営業利益	7,242百万円 前年同期比72.2%
経常利益	7,482百万円 前年同期比73.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,674百万円 前年同期比71.9%

目で見える連結決算ハイライト

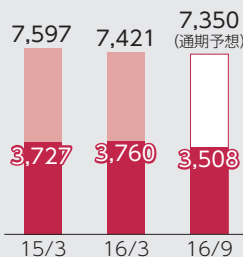
CHECKPOINT

- 売上高：**
 国内販売は前年並みも、円高が進行した影響により海外販売が減少し全体として減収。セグメント別では、生活関連は前年並みも、他の4セグメントは減収。
- 営業利益：**
 退職給付会計における数理計算上の差異を費用計上したこと(前年同期比△20億円)等により減益。

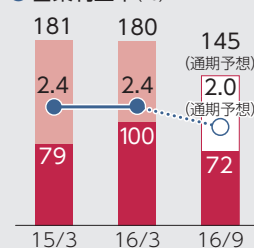
連結決算ハイライト

■ 上期 ■ 通期 □ 予想

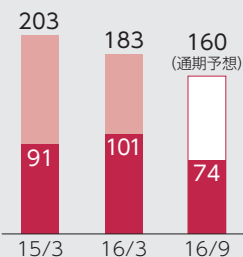
売上高(億円)



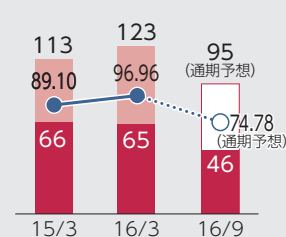
営業利益(億円)
● 営業利益率(%)



経常利益(億円)

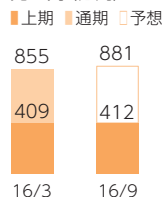


親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益(億円)
● 一株当たり当期純利益(円)



売上高 ● 412 億円 営業利益 ● 18 億円

売上高(億円)

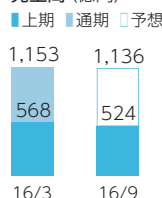


○ 上期の概況

全体の売上は前年並み。ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野での海外売上が減少。スキンケア・トイレタリー分野は国内は減少も、海外が増加。ビューティケア製品事業は、新商品の販売が好調で増収。

売上高 ● 524 億円 営業利益 ● 5 億円

売上高(億円)

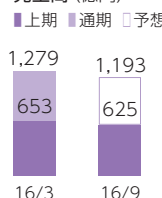


○ 上期の概況

国内は円高およびナフサ価格の下落で減収影響を受けたものの、樹脂ビジネスの伸長で売上は微増。海外では、販売量が好調に推移したものの、円高の影響で売上が減少。

売上高 ● 625 億円 営業利益 ● 31 億円

売上高(億円)



○ 上期の概況

国内は増加も、グレーターチャイナを中心として海外は減少。電子化学品事業は、変性エポキシ樹脂関連の売上が増加。電子資材事業は、スマートフォン向け部材、タッチパネル用部材等の売上が減少。

生活関連 セグメント



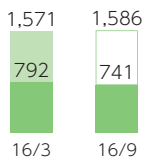
機能素材 セグメント



売上高・741 億円 営業利益・18 億円

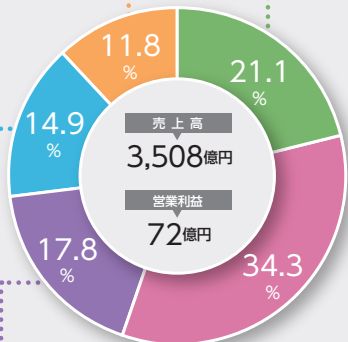
売上高 (億円)

■ 上期 ■ 通期 □ 予想



○ 上期の概況

国内、海外ともに売上は減少。機能化学品事業はアセアン・メキシコは伸長するも国内が減少し減収。スペシャリティケミカル事業はフッ素ケミカルが堅調に推移するも、樹脂添加剤等のビジネスが低調に推移し、全体としては微減。



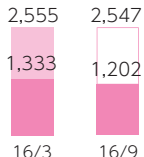
加工材料 セグメント



売上高・1,202 億円 営業利益・26 億円

売上高 (億円)

■ 上期 ■ 通期 □ 予想

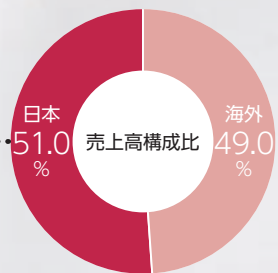
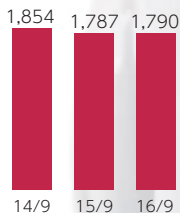


○ 上期の概況

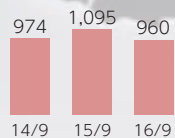
国内、海外ともに売上は減少。カラー&プロセッシング事業は包装材料用の合成樹脂等の売上は増加も液晶テレビ反射板用材料等の売上が減少。ポリマーグローバルアカウント事業の売上は前年並み。

地域別売上高 (億円)

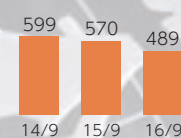
○ 日本



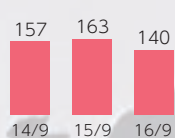
○ グレーターチャイナ



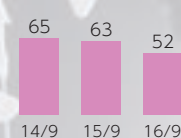
○ アセアン



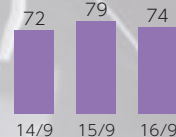
○ 米州



○ 欧州



○ その他



電子 セグメント



TOPICS 1 パンに「ポリウムアップ」と「柔らかさ」を付与 製パン用酵素『デナビイク®EXTRA』を発売

ナガセケムテックス株式会社は、株式会社林原と共同開発した製パン用酵素『デナビイク®EXTRA』を新商品として酵素剤のラインナップに加え、10月3日に当社より発売を開始しました。

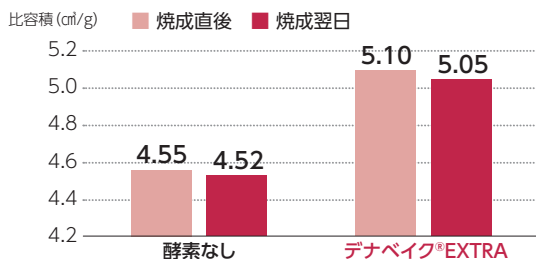
通常、パンの製造には様々な酵素が使われ、その種類によって出来上がったパンに特徴が生まれます。この『デナビイク®EXTRA』を製造時に使用することで、パンの「ポリウムアップ」と「柔らかさの持続」が可能となり、柔らかさを出しながら口どけも良いという新たな食感が生まれます。また、食品の安全性を考慮した非遺伝子組換え製品としても、国内外での幅広い利用が期待されます。

当社としては、この製パン用酵素『デナビイク®EXTRA』を食品用酵素製剤の主力製品として育てるべく、今後も活発な販売活動を展開していく計画です。

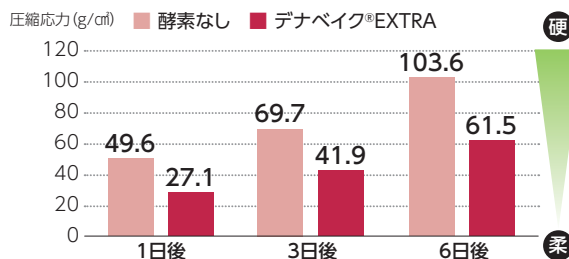


デナビイク®EXTRA 製品写真

デナビイク®EXTRAで大きくポリウムアップ



デナビイク®EXTRAで柔らかさキープ

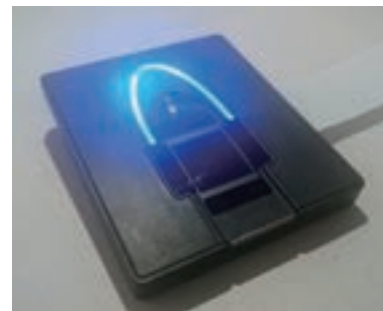


TOPICS 2 グローバルなセキュリティ需要に向けて世界最薄の血流認証技術を開発!

当社はバイオニクス株式会社と共同で、世界最薄で世界初の屋外使用が可能な接写式血流認証技術を開発しました。

ネット社会の進展によるセキュリティ需要の高まりで、生体認証市場がグローバルに拡大しています。なかでも血流認証は、高い認証精度と複製の難しさから金融分野で採用されていますが、構造とサイズの点から小型機器への組み込みや太陽光の影響のある屋外での使用が困難でした。今回開発したシステムは、光学技術とアルゴリズム処理の組み合わせにより、屋外での使用を世界で初めて実現し、スマートフォンやノートパソコン、車載に至るまであらゆるシーンでの搭載を可能にしております。

当社とバイオニクス株式会社は本技術をベースに、成長するセキュリティ関連ビジネス市場に進出し、世界に向けて積極的に事業展開してまいります。



今回開発した薄さ7mmの超薄型血流認証システムデモ機

TOPICS 3 北米ウレタン事業の強化に向けて中京油脂と北米ニーズに対応する製品開発をスタート

当社およびNagase America CorporationはCytech Products Inc.の株式35%を取得し、その親会社である中京油脂株式会社と北米のウレタンニーズに対応する製品開発を開始します。

当社ウレタン事業は、自動車の内装部品メーカーへの材料販売のみでなく、ウレタンフォーム製品の製造事業も関連会社で行い、グローバルに展開しています。一方、Cytech社は親会社の中京油脂の優れた乳化・分散技術を活用し、多岐にわたる機能性油化学品を北米エリアで製造・展開しています。

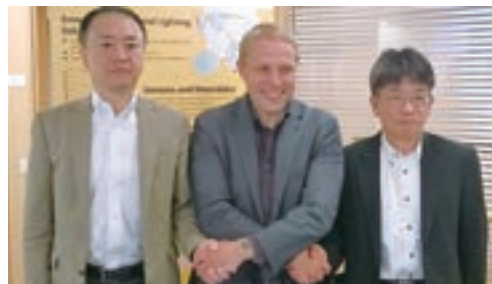
当社は今回の協業体制のもと、有機溶剤系から水系への自動車用ウレタン離型剤への移行が予測される北米で、そのニーズに対応するウレタン用離型剤販売の拡大を目指すとともに、中京油脂の技術を活用した製品開発や新市場開拓を進めていきます。



Cytech Products Inc.

TOPICS 4 ディスプレイ・タッチセンサー・ウェアラブル市場での事業強化へ向け インクロン社との確固たるパートナーシップを確立

当社およびナガセケムテックス株式会社は、Inkron Ltd.の株式を8.9%取得し、同法人の全額出資会社であるInkron Oy(以下、インクロン社)との提携関係をさらに強化しました。インクロン社は、ディスプレイ、LED、電源IC、半導体、プリントエレクトロニクス各産業向け次世代材料のテクノロジーリーダーで、最先端シロキサン重合体化学の能力によって、優れた性能上の利点を備えた広範にカスタム化された材料による製品開発を実現しています。インクロン社との共同開発を推進し、量産技術と品質管理システムを活用したグローバルな供給体制の確立を目指すとともに、特異的な光学特性を持つ材料が求められる、ディスプレイ・タッチセンサー・ウェアラブル市場での事業強化を進めていきます。



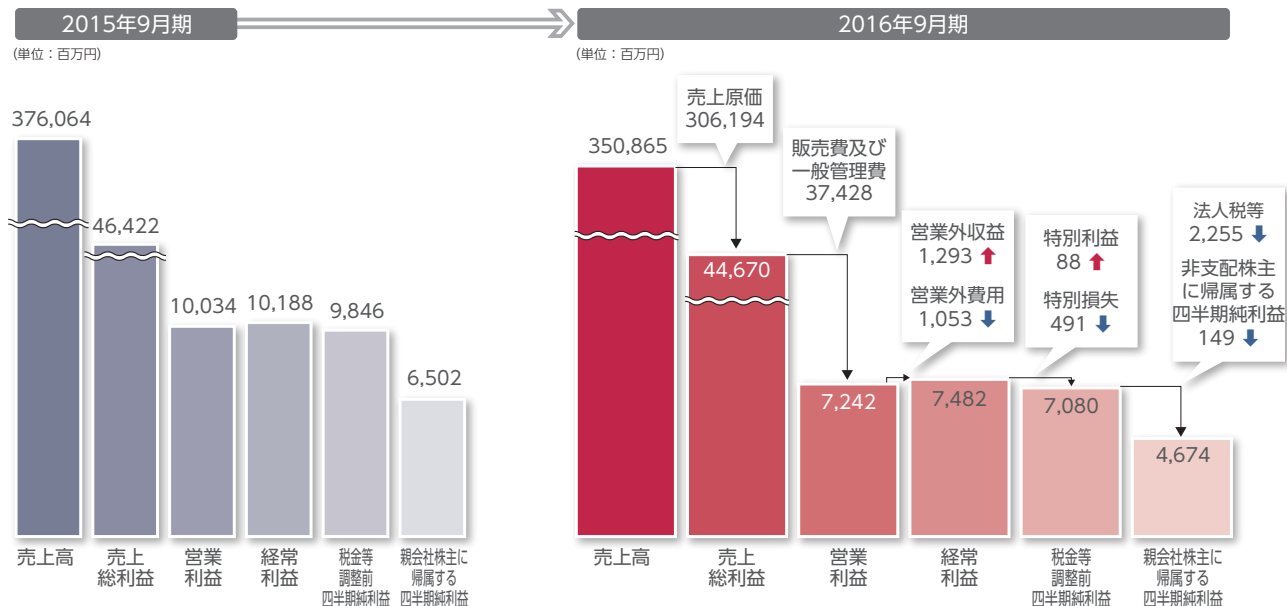
(左) 当社執行役員・奥村孝弘、(中央) Inkron Oy社CEO・Juha Rantala、(右) ナガセケムテックス代表取締役社長・磯野昭彦

TOPICS 5 自己株式の取得に関するご報告

当社は、資本効率の向上を図るとともに将来の機動的な資本戦略に備えるべく、平成28年9月21日に自己株式の取得を行いました。

東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の取得を行った結果、取得した普通株式の総数は908千株、取得価額は1,104百万円(1株につき1,216円)となりました。

目で見える連結財務諸表



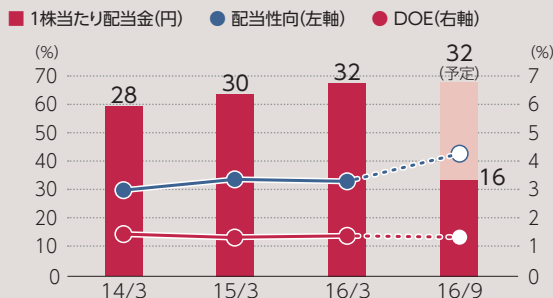
損益の状況

- Point 1** 国内販売は微増したものの海外販売で円高が進行した影響等により、売上高は3,508億6千万円(前年同期比△6.7%)
- Point 2** 減収に伴い、売上総利益は446億7千万円(同△3.8%)
- Point 3** 数理計算上の差異の償却に伴う退職給付費用の増加等により、営業利益は72億4千万円(同△27.8%)
- Point 4** 関係会社株式売却損の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億7千万円(同△28.1%)

利益配分に関する基本方針

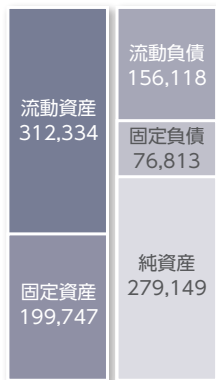
当社は、収益力の向上と企業体質の一層の充実強化を図り、連結業績連動を基礎とした、株主の皆様への安定配当を継続して行うことを基本方針としております。

当期の中間配当につきましては前期と同額の1株当たり16円とさせていただきます。また、期末配当につきましても1株当たり16円、年間ベースでは32円とし、前期と同額を予定しております。



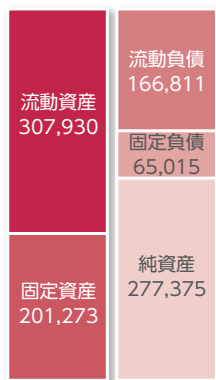
2016年3月期

(単位：百万円)



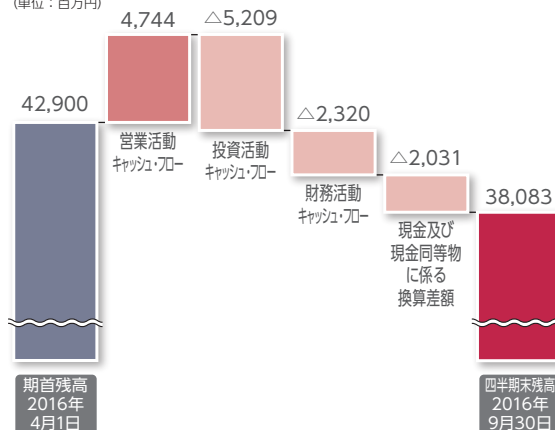
2016年9月期

(単位：百万円)



2016年9月期

(単位：百万円)



資産・負債・純資産の状況

- Point 1** 総資産は現金及び預金やたな卸資産の減少等により、前期末に比べ28億7千万円減少の5,092億円
- Point 2** 負債は未払法人税等の減少等により、前期末に比べ11億円減少の2,318億2千万円
- Point 3** 純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前期末に比べ17億7千万円減少の2,773億7千万円
- Point 4** 自己資本比率は前期末の53.5%から0.1ポイント増加し53.6%

キャッシュ・フローの状況

- Point** 現金及び現金同等物の(以下、「資金」)は、営業活動による資金の収入47億4千万円があったものの、投資活動による資金の支出52億円、財務活動による資金の支出23億2千万円に加え、換算差額による減少20億3千万円があり、前期末と比べ48億1千万円(前年同期比△11.2%)減少し、380億8千万円

ホームページのご案内



当社では多くのステークホルダーの方々へ当社の事業内容や強みなどがご理解いただけるようホームページの充実を図っています。コミュニケーションツールのひとつとして、ぜひ、ご活用ください。

URL → <http://www.nagase.co.jp/>

長瀬産業

検索

主要な情報

- ニュースリリース……適時開示情報や新製品情報等に関する情報をタイムリーに掲載しています。
- 企業情報……基本理念、トップメッセージのほか、組織図、役員等に関する情報を掲載しています。
- 事業内容……事業部門、研究開発部門ごとの役割と取り組み等に関する情報を掲載しています。
- IR(投資家情報)……決算説明会資料等のIR資料の随時公開のほか、動画会社案内なども掲載しています。
- CSR(環境・社会)……地球環境保全、社会貢献、コーポレート・ガバナンス等に関する取り組みを掲載しています。
- 採用情報……新卒採用、キャリア採用のほか、NAGASEグループの採用情報も掲載しています。

会社概要

商号	長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
創業	1832年(天保3年)6月18日
設立	1917年(大正6年)12月9日
資本金	9,699百万円
従業員	972名(連結6,321名)
主要な事業所	大阪本社、東京本社、名古屋支店、 ナガセR&Dセンター(兵庫県神戸市)、 ナガセアプリケーションワークショップ(兵庫県 尼崎市)、堺営業所(大阪府堺市)

取締役・監査役

代表取締役会長	長瀬	洋
取締役副会長	長瀬	玲二
代表取締役社長	朝倉	研二
代表取締役	名波	瑞郎
取締役	森下	治
取締役	佐藤	幸平
取締役	若林	市郎
社外取締役	西	秀訓
社外取締役	家守	伸正
監査役	松木	健一
監査役	濱口	雅彦
社外監査役(常勤)	白藤	信之
社外監査役	高野	利雄

株式の状況

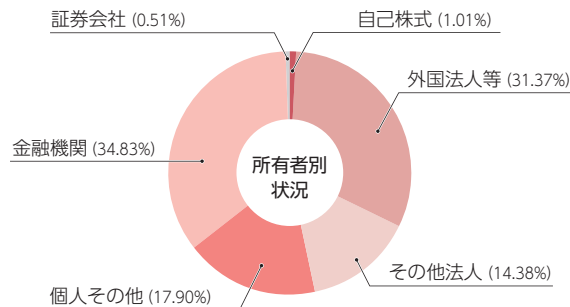
発行済株式の総数	127,408,285株
株主数	6,995名

大株主の状況

株主名	当社への 出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	6,896	5.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,126	4.81
三井住友信託銀行株式会社	5,776	4.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,067	3.98
株式会社三井住友銀行	4,377	3.44
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4,127	3.24
日本生命保険相互会社	3,589	2.82
長瀬 令子	3,555	2.79
長瀬 洋	2,947	2.31
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	2,804	2.20

(注)長瀬洋の所有株式数には、長瀬産業役員持株会名義の株式数が含まれております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
 株主名簿管理人
 事務取扱場所
 (郵便物送付先)
 (電話照会先)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-782-031

ホームページ URL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.nagase.co.jp/>
 単元株式数 100株
 株主に対する特典 毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元株以上保有の株主を対象に、自社もしくはグループ会社の商品を贈呈。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

● 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

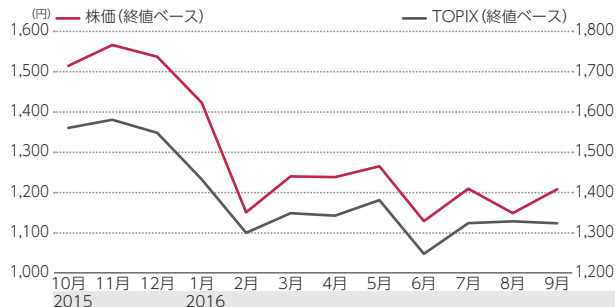
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

● 特別口座について

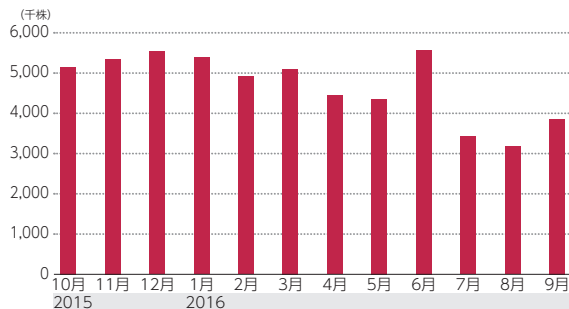
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株価／出来高の推移 (2015年10月1日～2016年9月30日)

株価の推移



株式売買高の推移



基本理念

NAGASE経営理念

社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、社員の福祉の向上と社会への貢献に努める。

NAGASEビジョン

社員の一人ひとりが、日々の活動で「見つけ、育み、広げる」を体現することにより、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献する。

NAGASEウェイ

- 常に顧客指向であれ
- 常に独創的な挑戦者であれ
- 常にグループ力の活用を考えよ
- 常にグローバルに考えローカルに行動せよ
- 常にシステムティックに考えスピーディーに行動せよ

林原 だより

～株式会社林原ってどんな会社～

水飴製造業として1883年に創業。2012年にNAGASEグループの一員となり、生活関連セグメントの中核企業としてバイオ分野を担っています。微生物の作り出す酵素を用いて各種糖質の開発を展開しており、「夢の糖質」とも呼ばれるトレハロースを始め、機能性食品素材の糖転移ヘスペリジンや安定型ビタミンCなどの製品を提供しています。

林原が扱う「トレハロース」とは？

トレハロースは「太古の昔から地球上に存在」する、きのこ類や酵母などに含まれている自然界に存在する糖で、私たちの身近な食品の中にも存在します。現在、トレハロースは菓子や食品だけでなく化粧品、入浴剤、飼料、肥料等に幅広く使用されており、海外での利用も増加しています。TREHA®web (<http://treha.jp>)にて詳細公開中です。

最近の取り組み①

岡山機能糖質工場 「T棟(トレハロース製造工場)」の増築完了

2015年9月より進めていた岡山機能糖質工場・T棟の増築工事が無事完了し、本年9月6日に竣工式を執り行いました。岡山機能糖質工場・T棟は、食品用の高純度トレハロース「トレハ®」の専用工場として2009年6月に竣工しています。今回の増築では、既設のT棟建屋の北側に隣接する空き地に、工場を拡張し、濃縮装置、結晶化装置、自動倉庫などの設備と新事務所、会議室を設置しました。

また製造設備の増設とともに、最新鋭の省エネルギー設備の導入と作業動線の改善により、現在の製造能力3万5千トンから約3割の製造能力を増強。自動倉庫の導入による物流面の効率化とあわせて、トレハロースの安定供給の確保と製品の競争力強化を図っています。

- 工場の拡張
 - 濃縮装置の設置
 - 結晶化装置の設置
 - 自動倉庫の設置
- 等々
- 製造能力 **3割** UP



最近の取り組み②

林原ラッピング路面電車で トレハロース使用の岡山銘菓を紹介

2015年6月より運行中の林原ラッピング路面電車(岡山電気軌道)に、車内つり革広告を採用し、2016年7月より掲示を開始しました。「岡山の銘菓をつなぐトレハの輪」と題し、岡山県内16社のトレハロースを使用してお菓子(1社1点)を写真とともに紹介しています。

岡山で生まれ育ったトレハロースの持つ「でん粉老化抑制」「保水性」「低甘味性」などの特長的な機能が岡山の銘菓に活かされています。路面電車を利用する地元の方々に「岡山銘菓」と「トレハロース」をより身近に感じていただくとともに、岡山を訪れた皆さまのお土産選びにお役立っていただければと考えております。

トレハを使用した岡山銘菓

商品名	屋号
1 いちご夢二	岡山夢菓匠 敷島堂
2 津山えくぼのお菓子 いちま	旬菓匠くらや
3 岡山名物 きびだんご	今和夢菓子 錦盛堂
4 おかやまロール	御菓子処 清風庵
5 元祖 きびだんご	廣榮堂
6 きび田楽	金萬堂本舗
7 塩チョコきびだんご	中山昇陽堂
8 辰治 包(つつみもの)	菓匠 福井堂
9 生きびだんご	山脇山月堂
10 藤山高原ミルクきびだんご	廣榮堂武田
11 むらすめ	橘香堂
12 もなみ	大手饅頭伊部屋
13 良寛めり	菓子処 良寛庵ひらい
14 ワッフル	白十字
15 わらびあん	御菓子処 華宵庵
16 ピュアラブルグミ	カバヤ食品



株式会社林原について詳しく知りたい方はこちらをご覧ください → <http://www.hayashibara.co.jp/>

長瀬産業株式会社
<http://www.nagase.co.jp/>

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C022915